

第55回試験研究成果発表会（野菜Ⅱ）発表概要

【日時】平成30年1月23日（火）13:00～15:50

【会場】農林総合研究センター暖地園芸研究所（館山市山本1762）

発表1 成果発表（13:10～13:35）

メロンえそ斑点病を効率的に防除する

ー発病圃場でウィルスはどのくらい生存するかー

暖地園芸研究所 生産環境研究室 久保 周子

地床アールスメロンの半促成栽培とトマトの輪作体系において、メロンえそ斑点ウイルスがどのくらい生存するか、独自に開発した生物検定法と併せて紹介します。また、生物検定や栽培試験の結果から、えそ斑点病の防除に必要な抵抗性品種の利用期間など、トマトとの輪作体系を提示します。



メロンえそ斑点病罹病葉

発表2 成果発表（13:35～14:00）

千葉県におけるミナミアオカメムシの発生生態と分布拡大

暖地園芸研究所 生産環境研究室 清水 健

地球温暖化にともない、南方系の広食性農業害虫であるミナミアオカメムシが東日本へも分布域を拡大させて問題となっています。本種は千葉県内暖地のアブラナ科植物体上での越冬が確認され、調査作物をオクラとする発生調査から県北部への分布拡大が認められました。冬季の気温が高い地域を中心に分布がさらに拡大し、県内での発生が増加することが懸念されます。本種の生育の特徴や県内における発生生態について紹介します。



ミナミアオカメムシ

発表3 成果発表（14:00～14:20）

7月どりエダマメの優良品種の選定

暖地園芸研究所 野菜・花き研究室 宮本 直子

4月播種7月収穫のマルチ栽培エダマメの優良品種は「M3-025」、「夏風香」、「ゆかた娘」及び「MEB-600」の4品種です。品種の特徴を紹介します。



エダマメ品種審査会

発表4 情報提供（14:30～14:50）

6月どり未成熟トウモロコシの優良品種の選定

暖地園芸研究所 野菜・花き研究室 宮本 直子

3月播種6月どり未成熟トウモロコシ（トンネル栽培）の優良品種は「味来1364」、「THX-166」、「プレミアムスイート」、「MSG-1203」、「わくわくコーン88」、「Y510R」です。各品種の特徴を紹介します。



トウモロコシ品種審査会

発表5 成果発表（14:50～15:15）

イノシシ被害を減らそう

－電気柵の効率的な管理とセンサーカメラを利用したイノシシ捕獲－

暖地園芸研究所 生産環境研究室 松村 広貴

県内ではイノシシ被害対策として、電気柵の設置や箱わなによる捕獲が行われています。本発表では電気柵の下草管理に省力的かつ有効な除草剤の使用方法和、センサーカメラを用いたイノシシの効率的な捕獲方法を紹介します。



センサーカメラを用いたイノシシ捕獲

発表6 成果発表（15:15～15:40）

食用ナバナ根こぶ病の防除対策

－防除効果を知って手段を選択－

暖地園芸研究所 生産環境研究室 久保 周子

食用ナバナの重要病害である根こぶ病は、登録薬剤の処理で高い防除効果が期待できる他、pHの矯正や播種時期の後退により発病を抑制できます。一方、おとり作物や移植栽培の発病抑制効果は低いが、薬剤との組み合わせにより効果は高くなるなど、各種防除法の効果について解説します。



根こぶの着生したナバナ根部